

Kia ora! 高等部二年の M.I です。私は 3 月 13 日から 3 月 27 日までの二週間、厚木市の“Fly to NZ project”に参加しました。このプロジェクトは市内に住む高校生を対象に行われ、10 人の高校生が厚木市の観光大使のような役目を担ってニュージーランドでホームステイしながら現地の人に厚木市の魅力を伝えるものです。
では早速皆さんに留学の様子をお届けしていこうと思います！



←私が参加したプログラムです！厚木に住んでいて興味がある方は2年に1度あるので是非！！

～準備～

観光大使的な立場で行くプロジェクトなので、私も含めメンバーは2月の下旬からどう厚木市の魅力を伝えるか話し合いをしたり、ニュージーランドの強烈な(?)訛りに対応するべく海外の人とzoomでやり取りしたりして準備をしました。一緒に行く子たちとは、「厚木に住んでいる」という共通項しかなく初対面だったのですが、3月の出発直前まで何度も何度も会って話し合いをするうちにすっかり仲良くなれて順調にプロジェクトを進行できました。

しかし！ 出発1,2週間前にバッドニュースがやってきました…。

なんと私たちがニュージーランドにいる期間に学校の先生たちがストライキをするとのことでした。その影響で1週間ほど学校に行く予定だったのが3日になってしまいました(泣) そんなこんなで始まったニュージーランドでの二週間の紹介に移りたいと思います

～1週目～

飛行機に乗ること10時間半、ようやくオークランド空港に到着しました！

機内はもちろん英語で、英語の説明を見ながら入国審査カードをドキドキして書いたのを覚えています。行きの飛行機は運が悪かったのか隣に座っていた方がずっと白ワインを飲んで、話しかけてきて一睡もできませんでした。皆さんは飛行機に乗るとき耳栓をお忘れなく！ それから機内食は出発地のものを頼むと美味しいと思います。飛行機の中では友達とゲームなどをして遊んで過ごしたり、映画を見たりしました。



オークランド空港はかなりの機械化が進んでいて、顔認証システムでパスポートの本人確認を行っているだけでなく、空港内を自動運転のカー트가駆け回っていました。でもやはり入国審査は審査官がいてそこは激混みでした…。

入国審査はすべてを見透かされている気分で怖かったのですが、意外にも文章で何かを答える必要がないから簡単な単語を答えるだけで終わりました。しかしそのあと手荷物検査でほかのメンバーは何もなく通過したのに、私だけ検査官に呼び止められてスーツケースを全開にして検査されました！ でも実はランダムに声をかけていたらしく、大丈夫だよーと言って解放されました。本当に心臓が凍りました。ちなみに検査官のおじさんは茎わかめに興味津々だった

のでひとつおすそわけして、お返しにめちゃめちゃ美味しいおじさんお手製クッキーをもらいました。



はらはらしまくりの入国でしたが何とか切り抜け、"one tree hill 1"というところに移動し、お昼ご飯を食べました。正直油が多くて胃が大荒れでした。その後はそれぞれホームステイ先に行ってホストファミリーと過ごしました。私のホストマザーは、小学校の先生でお子さんはもう大人になって、お孫さんもいらっしゃる方でした。

こうして終わった一日目。時差は4時間しかないものの飛行機で寝れなかったせいか夜ご飯を食べ

ずに寝てしまいました。

2日目、"Shakespeare regional park" というところに行く予定でしたがなんと私は大寝坊をしてお迎えの車が来たときに起床。絶望しましたが、向こうの人は笑って待っていてくれて神でした。"Shakespeare regional park" にはキーウィがいて、とっても可愛かったです！ その後公園の砂浜でランチのサブウェイを食べてみんなで泳いで遊んで帰りました。1日目は疲れすぎてわからなかったのですが、ニュージーランドの人は早寝早起きで、多くの人が夜の10時には寝て朝は5時起きでした。3日目は"Weta workshop unleashed"という所に行きました。"Weta"は映画のセットを作る会社で、このワークショップでは実際に使われたものを見ることができました。ですが、知らない映画が多くて予習すればよかったなと思いました。



右) Shakespeare regional park

左) Weta workshop unleashed

4日目には、ニュージーランドの先住民族マオリ族の文化を継承する学校に行きました。ニュージーランドでは子供はマオリの学校か一般の学校かの二種類の学校のどちらに通うか選ぶことができます。マオリの学校では普通の授業に加え、学校では基本マオリ語を話しハカやポイダンスを習います。目の前でハカを披露してくれて大迫力でした。

生徒の子たちはとても優しく一緒に日本のおやつを食べて交流しました。これは余談ですが、男梅グミは不人気でした。どうやら梅がお口に合わないそうです。こうしてニュージーランドの生活にも慣れてきて、最初は油が胃を痛めつけましたが食事にも慣れてきて快適に過ごしました。

5日目は、スポーツデーでテニスやスカッシュをして遊びました。お昼ご飯はお肉を焼いて自分たちでハンバーガーを作りました。そのときにエージェントの方が「男子が肉を焼くんだ」と言っていてなぜか聞いたらレディーには危険なんだそうです(笑)要はレディーファーストの延長なのかなと思います。でもたしかに、言われてみるとホームステイしていた家でも夜ご飯に出すお肉はホストファザーが外で焼いていました。



写真の後ろに写っている飲み物はL&Pというニュージーランドでしか買えない飲み物で、コーラにレモンとパエロアを加えた味で、すごくおいしかったです。メンバーの一人は気に入ってケース買いして日本まで持ち帰っていました。ニュージーランドに行ったらぜひ一度飲んでみてください

6日目は日曜日で、アクティビティが何もなかったのでニュージーランドにいる日本の友達に会いに行きました。その子は同じ年で昔は会っていたのですが、ニュージーランドに行ってしまうと全く会えていなかったの、久しぶりに会えて楽しかったです。その子はフリスビーのアルティメットという競技のチームに入っていて、試合の応援に行ったあと、サンデーマーケットに行ってアイスやピザなど美味しいものをたくさん食べました。サンデーマーケットにはハンドメイドのお店中心に色々なお店が来ていて面白かったです。ニュージーランドは多民族国家なのでマーケットで韓国の方と韓国語でおしゃべりもして、英語だけでなく韓国語まで上達しました(笑)



7日目の月曜日は、オークランドの市内観光をしました。フェリーに乗って対岸まで行ってみんなでフィッシュアンドチップスを食べて過ごしました。ここでもアイスを食べました(笑)後から聞いた話なのですがニュージーランドは世界で一番アイスを食べる国だそうです。ニュージーランドのアイス屋さんはたくさんあってお店によってフレーバーが違



うのですが、どのお店も基本ダブルで頼みます。コーンにすると中までアイスが詰めてくれてコスパ抜群です。私のおすすめのアイス屋さんは“Ollies Burgers & Ice cream”というお店です。たぶんこのお店が一番大きくアイスが揃っていて、コーンにぎっしりアイスが詰めてくれます。この日は恐らくニュージーランドで一番店舗数が多く人気の”Island Gelato”というお店のアイスを食べました。このお店はヴィーガン向けのメニューがありそれが人気の秘訣なのではないかと思います。



そしてついに8日目ニュージーランドの学校に行きました。私のスクールバディは3歳年下で year 9 という学年の子でした。8日目から11日目まで学校だったのですがその間に私の誕生日が重なっていて、クラスの子が日本語でお手紙をくれたりニュージーランドのお菓子をくれたりしてとても楽しく過ごせました。森村のセーラー服はスカーフだからかニュージーランドの学校でセーラームーンと呼ばれていました(笑)ニュージーランドの学校ではモーニングティーという時間

があり2時間目と3時間目の間にお菓子を食べる時間として、ほとんどの学校にあるそうです。お昼ご飯は日本の給食のようにご飯を配っていてそれを食べる子もいれば、家から好きなものを持ってくる子もいました。基本的に外の芝生に座って食べる感じで、教室は雨の時のみ利用できるようです。ニュージーランドの学校の授業で驚いたのが小さい頃から算数の計算を電卓でやってしまうところです。なので13歳の子たちが受けていた算数の授業はほとんど計算問題でした。わたしが電卓を使わないで掛け算の九九を暗唱したら天才！とクラスメイトが驚いていました。それから、ニュージーランドの学校では障害を



持つ子も普通学級で授業を受けていて日本でもこうすればいいのにと思いました。体育の授業は、先生はいますが授業は上級生が仕切って行う仕組みで、みんな上級生とかなり仲が良かったです。放課後は部活がないのでアイスを食べたり、ラグビーの試合を見たりしました。ニュージーランドの学校はかなり自由で生徒みんなが自発的に何かをしようとする姿勢がカッコいいと感じました。

加えてニュージーランドの学校ではかなりの数の子がたばこを吸っているようで、トイレのにおいがすごくきつかったです。そんなこともありましたがニュージーランドで出来た友達とは今も連絡をとっていて近況報告しあっています。

ちなみにこのアイスが私おすすめの”Ollies Burger & Ice cream”のアイスクリームです。誕生日に友達がおごってくれました。

12日目はみんなでピクニックをしたあとニュージーランドの水族館に行きました。私たちがいたときはちょうど秋だったので風が気持ちよくていいヒーリングになりました。水族館は南極が近いだけあって大量のペンギンがいました。日本の水族館と入る魚が違って楽しかったです！





そしてニュージーランドで過ごす最後の日曜日、ニュージーランドで有名なネットボールというスポーツをしました。ネットボールはハンドボールとバスケットボールを組み合わせたようなスポーツで思っていた以上に疲れました。周りの人が敵味方関係なくルールを教えてくれてありがたかったです。その後ホストマザーのお孫さんと家でおもまごとをして遊びました。その時ねるねるねと一緒に作ったのですがとても楽しんでくれました。

こうしてニュージーランドでの長いようで短い2週間が終わり、出国の日。

朝9時発の飛行機だったため、5:30には家にお迎えの車が来て空港へ向かいました。ホストファミリーがニュージーランドのお土産をたくさんくれて最後まで幸せでした。

親善大使として現地の学校の子たちの前で厚木市について紹介したりオークランドの人たちと一緒にご飯を食べながらお互いの町について話したりしました。実は他にもする予定のことがあったのですがニュージーランドで行われたストライキで予定が変更され親善大使としての活動は本来の活動より縮小して行われました。それでもオークランドの人々や現地の学校の子たちに厚木市について発表できるようにニュージーランドへ行く一か月前からメンバーの子たちと集まって発表の準備を入念にしました。そのおかげか現地の学校の発表はかなり好評で厚木市について興味を持ってもらえたと思います。



～報告会～

4月の23日、このプロジェクトの報告会があり厚木市役所の企画制作部長さんの前で発表しました。とても緊張しましたが市内の方々にも話を聞いていただけてこのプロジェクトを広めるいい機会だったと思います。この報告会で修了証をもらい、2月から始まった、“Fly to NZ project 2023”は無事に終わりました。留学に協力していただいた方々に感謝しています。

こんなニュージーランドでの時間は私にとっていい経験になりました。行く前は本当に行って大丈夫か正直迷うところがありましたが、いざ行ってみたら暖かく迎え入れてくれて充実した時間だったと思います。一方でニュージーランドの友達が出来た時に、自分の伝えたいことを正確に伝えられずもどかしさを感じたこともありました。自分の伝えたい気持ちが十分でも単語力が追い付いていなくて残念だったので、また行く機会があればもっと話せるようにこれからも勉強していこうと思いました。2週間しか行っていない私からですが、もしこれを読んでいる人の中で留学に行こうか迷っている人がいたら、目的が自分の中ではっきり決まっているなら行くべきだと思います。今はスマホで何でも調べることができるので自分の意思がないとスマホに甘えてしまうのかなと思います。でも目的を持って行けば、多少のことは乗り越えられるし強くなって帰ってこれると思います。

皆さんも興味関心があれば、ぜひ一度ニュージーランドに足を運んでみてはいかがでしょうか？

Ka kite ano!